

# 都市魅力の向上②

## 重点エリア等のマネジメント ～主な取組み～

### 大阪駅周辺地区

#### うめきた2期区域のまちづくり【後掲】

- うめきた新駅設置事業、JR東海道線支線地下化事業、大阪駅北大深西地区土地区画整理事業
- うめきた2期「みどり」と「イノベーション」の融合拠点実現に向けた推進体制の構築

新

### 御堂筋周辺地区

#### 御堂筋完成80周年記念事業 ( 5,000万円)

- 官民連携による新しい御堂筋づくりに向けた取組み
  - ・将来像等の検討・ビジョン策定、記念シンポジウム・ワークショップの開催
  - ・公共空間等を活用したにぎわい創出の取組み、御堂筋彫刻修景整備(プランター設置) など

新

### 大阪城・大手前・森之宮地区

#### 大阪城エリア観光拠点化事業 ( 1億1,500万円)

- 豊臣石垣公開事業(公開施設の設計等)及び太閤なにわの夢募金の実施

### 天王寺・阿倍野地区

#### 天王寺公園・動物園の魅力向上事業 ( 3億9,000万円)

- 天王寺動物園101計画の推進
  - ・ペンギン・アシカ舎のリニューアルに着手、官民連携による飲食等サービスの魅力向上 など
- 公園回遊性向上とアクセス改善の取組み

#### 市立美術館の魅力向上 ( 3,900万円)

- 大規模改修に向けた基本計画策定及び技術的調査・検討業務、館蔵品修復



ANNIVERSARY  
MIDO-SUJI

御堂筋完成80周年記念事業  
ロゴマーク



豊臣石垣公開イメージ



リニューアル予定のペンギン・アシカ舎整備イメージ

## 都市魅力の向上③

## 重点エリア等のマネジメント ～主な取組み～

## 中之島地区

## 新しい美術館の整備事業 (2億1,200万円)

- 2021(平成33)年度中の開館をめざし、基本設計・実施設計の実施、PFI導入可能性調査、コレクションの魅力向上(開館準備業務)



(仮称)大阪新美術館  
公募型設計競技 最優秀案

## 築港・ベイエリア地区

## 大阪港開港150年記念事業 (9,700万円)

- 大阪港開港150年記念式典及び関連イベント等の実施
  - ・ コアプログラムである記念式典やアジア諸港意見交換会等の開催
  - ・ 市、国や関連団体が主催の記念イベント等の実施
- 大阪港開港150年を契機としたベイエリア魅力向上事業
  - ・ 大阪城・中之島周辺と築港・天保山エリアを舟で結ぶとともに、同エリアで市民参加型のイベントを実施



大阪港開港150年記念事業  
ロゴマーク

## 天保山客船ターミナル整備 (4,300万円)

- PFI手法による整備・運営のためのアドバイザー業務  
平成29年度にPFI事業者を選定するための入札手続きに着手



天保山岸壁に入港する客船

## 難波周辺地区

## なんば駅周辺道路空間の再編に向けた検討調査 (500万円)

- 官民連携による道路空間再編計画及び事業スキームの検討

## 地域資源を活かした大阪の魅力発信

新

伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業 ( 1,400万円)

- 大阪の文化資源である伝統芸能を振興するとともに、観光資源として活用するためのコンテンツ創造や地域の魅力を発信

観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業(3億5,100万円)

- 船場地区において、歴史的・文化的な建築資源を活かすための無電柱化や周辺景観と調和した道路整備など

食を活用した観光魅力開発事業 ( 300万円)

- 民間事業者等との連携により、大阪の食の魅力を活用した新たな大阪ならではの観光コンテンツを開発

## 関西の観光インバウンド拠点「大阪」をめざして

外国人等観光客受入環境整備事業 ( 9,700万円)

- 観光客に人気のあるミナミエリアからアクセスが良い本市未利用地をバス駐車場として運用

新

- 日本橋観光バス乗降スペース付近における観光案内表示の設置や歩道拡幅整備

船場地区における整備イメージ



日本橋乗降スペース付近の整備イメージ

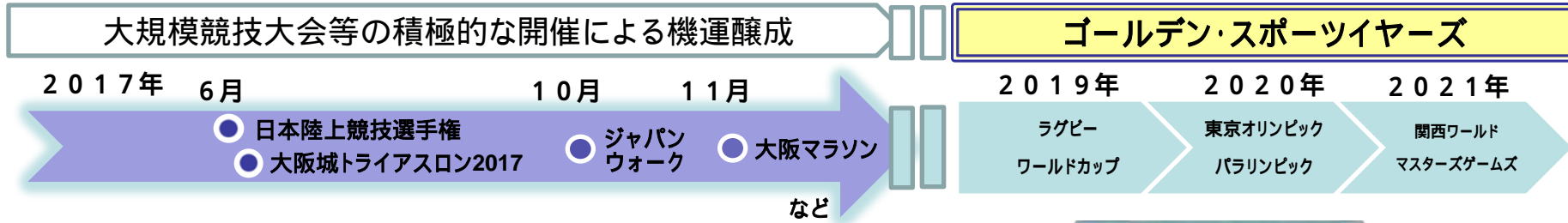


# スポーツ振興施策の展開

## ゴールデン・スポーツイヤーズを好機と捉えたスポーツ振興施策の展開

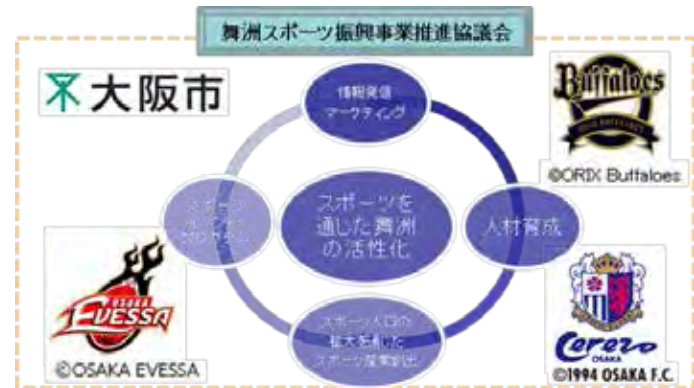
### 「スポーツが心の豊かさを稼ぐまち 大阪」に向けた取組み

#### 【拡】 スポーツ競技大会等の開催 (1億3,300万円)



#### 【新】 舞洲プロジェクトの実施 (1,500万円)

- 舞洲を拠点に活動する大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪と連携し、スポーツ振興・スポーツ産業創出をめざした取組みを実施



# 文化施策の展開

第2次文化振興計画(平成28年10月策定)

「第2次文化振興計画」に基づき、芸術文化がより一層発展し、新しい文化が創造されるよう「文化自由都市、大阪」の実現をめざした大阪にふさわしい文化施策を推進

### (施策の方向性)

**文化創造の基盤づくり**  
 芸術文化の創造と人材育成や、文化資源の保護・継承

**都市のための文化**  
 大阪の誇る芸術文化を活用した都市魅力向上と発信

**社会のための文化**  
 芸術文化の社会への波及力を活用

**芸術文化魅力育成プロジェクト事業** ( 700万円)  
 ○ 様々なジャンルが集まるイベント型事業を府市共同で実施

**新** **区と連携した芸術文化青少年育成事業** (1,200万円)  
 ○ 区の特性にあった芸術文化分野の青少年向け人材育成事業

**新** **伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業【再掲】** (1,400万円)

**地域等における芸術活動促進事業** ( 400万円)  
 ○ 様々な分野の課題解決等にも寄与する芸術活動を促進

**文楽を特色とする地域魅力創出事業** ( 400万円)  
 ○ 文楽を活用した地域振興(中央区高津地区と連携)に係る事業実施

**芸術・文化団体サポート事業、大阪クラシックなど文化振興事業** ( 4億9,200万円)  
**新しい美術館の整備事業** ( 2億1,200万円)【再掲】  
**市立美術館の魅力向上** ( 3,900万円)【再掲】  
**博物館施設運営等** (18億3,900万円)



文楽を特色とする地域魅力創出事業

## まちづくりの方針に基づく、質の高いまちづくりの実現に向け、都市基盤整備等を推進し、我が国の国際競争力の強化に資する拠点を形成

### うめきた新駅設置事業

( 9億9,700万円)

○ 駅部の実施設計、トンネル構造物構築等

当初予算額に、平成28年度補正予算にて平成29年度繰越分(4億4,700万円)を含む

### JR東海道線支線地下化事業

(93億6,300万円)

○ 地下化の実実施設計、トンネル構造物構築等

当初予算額に、平成28年度補正予算にて平成29年度繰越分(56億3,600万円)を含む

### 大阪駅北大深西地区土地区画整理事業

( 5億1,900万円)

○ 埋設物移設等

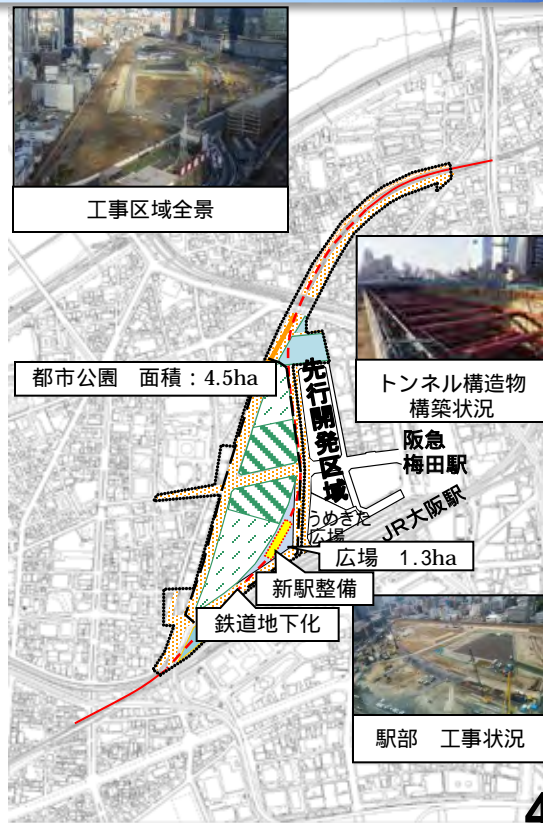
当初予算額に、平成28年度補正予算にて平成29年度繰越分(1億6,900万円)を含む

**新** うめきた2期「みどり」と「イノベーション」の融合拠点 ( 500万円)  
実現に向けた推進体制の構築

○ 経済界や行政等が連携して「(仮称)みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」を立ち上げ、中核機能の実現に向けた企画立案・推進活動を実施

### まちづくりのスケジュール(予定)

2017(平成29)年度～	(仮称)みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 活動開始
2023(平成35)年春	鉄道地下化切替、新駅開業 以降 順次まちびらき
2026(平成38)年度末	基盤整備完了



# 鉄道ネットワークの充実

うめきた新駅の設置等とともに、新たな鉄道「なにわ筋線」の事業化に向けた検討を深め、都心部から関西国際空港や新大阪へのアクセス強化を図り、あわせて東西二極の一極を担うため、リニア中央新幹線や北陸新幹線等の広域交通インフラの推進に取り組む

なにわ筋線の検討調査 ( 500万円)

○ なにわ筋線事業化に向けた検討

- ・ 国等との協議に応じた事業計画の精査等

うめきた新駅設置事業 ( 9億9,700万円)【再掲】

J R 東海道線支線地下化事業 (93億6,300万円)【再掲】

リニア中央新幹線整備促進の検討 ( 300万円)

○ 早期全線開業の実現に向けた検討、国等への働きかけ

B R T 社会実験準備 ( 3,000万円)

○ B R T 社会実験の調査を実施

地下鉄・可動式ホーム柵の設置

○ 谷町線 東梅田駅、堺筋線 堺筋本町駅において着手

2019(平成31)年度設置予定

可動式ホーム柵の整備促進 ( 3,000万円)

○ 民間鉄道事業者への補助

- ・ 平成29年度実施予定 阪急十三駅



国土軸(名神高速道路等)と阪神港及び関西国際空港を結ぶ大阪の骨格となる高速道路ネットワークの形成により、阪神高速の都心部の慢性的な渋滞の緩和や沿道環境の改善、産業・観光・物流分野の推進を図るとともに、災害時などのリダンダンシーを確保



## 淀川左岸線延伸部事業 (1,700万円)

- 平成29年度より新規事業化し調査等に着手  
(国直轄事業への地方負担金)
- ・区 間:新御堂筋～第二京阪道路
- ・完成予定:2031(平成43)年度
- ・事業主体:国・阪神高速道路(株)・西日本高速道路(株)

## 淀川左岸線2期事業 (20億4,700万円)

- 用地取得、各種調査の推進とともに、平成29年度より本体工事に着手
- ・区 間:阪神高速神戸線～新御堂筋
- ・完成予定:2026(平成38)年度
- ・事業主体:大阪市・阪神高速道路(株)





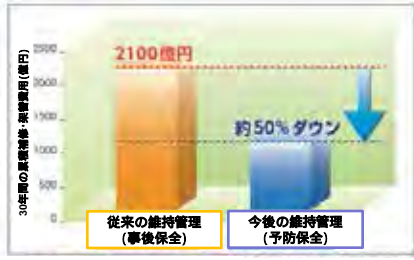
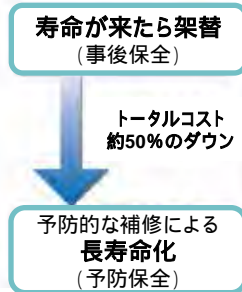
# 公共施設の維持管理の推進

公共施設の安全確保・機能維持を図るため、長寿命化を基本とする計画的な維持管理を推進

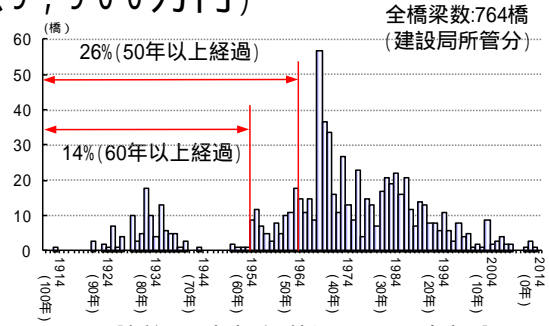
## インフラ施設・市設建築物の維持管理

○ インフラ施設(道路、岸壁等)の維持管理

( 704億6,100万円 )  
( 144億9,900万円 )



本シミュレーションは、今後の社会状況により変わる可能性があります。



【橋梁の老朽化状況(H26.4時点)】  
(大阪市公共施設マネジメント基本方針より)

長寿命化による維持管理費の縮減・平準化例(橋梁)

○ 市設建築物(一般施設、学校施設、市営住宅)の維持管理 (559億6,200万円)

当初予算額に、平成28年度補正予算にて平成29年度繰越分(98億9,600万円)を含む

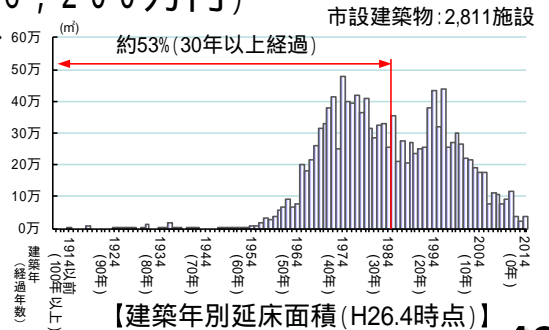


改修前



改修後

市設建築物の外壁改修事例(保育所)



【建築年別延床面積(H26.4時点)】  
(大阪市公共施設マネジメント基本方針より)

東日本大震災の教訓や南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ、  
地震・津波等から住民の生命・財産を守るための対策に取り組む

「地域防災計画」や「防災・減災条例」に基づき自助・共助・公助の役割分担と  
相互連携のもと、ソフト・ハードの両面から防災・減災対策を推進

## 災害救助物資の備蓄 ( 3億6,400万円)

- 府市連携により、南海トラフ巨大地震の想定避難所生活者数53万人3日分対応へ  
備蓄を拡充
- 他自治体や民間事業者等と防災協定を締結し、物資量を確保  
(平成29年1月末現在:東大阪市及び23社の民間事業者等と協定締結)



災害救助物資の備蓄例

## 市設建築物の吊り天井脱落対策 (26億5,600万円)

- 大阪市地域防災計画に位置づけられた、災害時に重要な機能を果たす施設  
(防災活動拠点)を優先して、補強や撤去等の対策を推進  
(災害時避難所や津波避難施設、区ボランティア活動支援センター等:28施設)



天井撤去・再設置の例  
(基準に適合した天井を設置)